

調査研究終了報告書

研究分野：感染症の発生拡大防止及び食品の安全性確保に関する研究

調 査 研 究 名	食品由来感染症の細菌学的疫学指標のデータベース化に関する研究
研究者名（所属） 印：研究代表者	堀川和美，村上光一，野田多美枝，濱崎光宏，石黒靖尚（病理細菌課），河野喜美子（宮崎県衛環研），尾崎延芳（福岡市保健研），藤田景清（北九州市環境科学研），隈元星子（佐賀県衛生薬業セ），山口仁孝（長崎県衛公研），東根秀明（長崎市保環研），荒平雄二（熊本県保環科学研），丸住美都里（熊本市環境総合研），緒方喜久代（大分県衛環研），中山浩一郎（鹿児島県環境保健セ），久高潤（沖縄県衛生環研）
本庁関係部・課	保健福祉部・生活衛生課，健康対策課
調 査 研 究 期 間	平成16年度 - 17年度（2年間）
調 査 研 究 種 目	1. 行政研究 課題研究 共同研究（共同機関名：国立感染症研究所，九州11地方衛生研究所） 受託研究（委託機関名：厚生労働省） 2. 基礎研究 応用研究 開発研究 3. 重点研究 推奨研究 ISO推進研究
ふくおか新世紀計画 第2次実施計画	大項目：安全で安心して暮らせる生活の確保 中項目：暮らしの安全を支える基盤の整備 小項目：危機管理体制の充実
福岡県環境総合基本計画 (P20,21) 環境関係のみ	柱： テーマ：
キ ー ワ ー ド	パルスフィールドゲル電気泳動(PFGE) 食中毒 感染源 感染防止 遺伝子解析
研 究 の 概 要	
1) 調査研究の目的及び必要性 食品由来感染症の早期拡大防止及び予防対策を図るためには，PFGEによる遺伝子解析および細菌学的な疫学マーカー解析（血清型，毒素型別，遺伝子型別等）を行い，全国的なネットワークを構築し，データの有効活用をすることが必要である．本研究は全国を6ブロックに分けた九州ブロックとして九州地区12地方衛生研究所の参画により実施する．	
2) 調査研究の概要 PFGEによる画像解析結果を共有するために，迅速且つ汎用性の高いPFGE手技を検討した．各地研において統一マニュアルによりPFGEを実施し，実用性を確認するとともに画像解析適応性を検証した．	
3) 調査研究の達成度及び得られた成果（できるだけ数値化してください） 1. 食品由来感染症細菌3菌種について，PFGEマニュアルを作成した． 2. PFGE解析結果を相互に共有化することができ，広域な食品由来感染症に連携対応が可能となった． 3. 食中毒及び感染性胃腸炎の臨床症状情報資料を提供した．	
4) 県民の健康の保持又は環境の保全への貢献 本研究で得られた技術及びネットワークは，細菌性食中毒や感染症の原因究明及び二次拡大防止対策に活用されている．	
5) 調査研究結果の独創性，新規性 食品由来感染症の原因菌に対してPFGEによる解析を用い，得られた結果をデータベース化するとともに関係機関において共有化し，予防対策等に役立てるためのネットワークを構築し，疫学的な広域連携対応を可能にした．	
6) 成果の活用状況（技術移転・活用の可能性） PFGEマニュアルは食中毒及び感染症事例において活用され，解析結果は原因究明に役立っている．	